

立山 '86.5.31~6.2.

真砂沢上部、大走沢、山崎カール、立山川、(タシボ"平)

メンバー：陶山泰、井村修康、島田隆一、高野真砂子、高橋智子(記)
菅沼博(5月31～6月1日、タシボ"平へ下山) 6名

5月31日

久し振りの小屋泊りで荷物が重いのでうれしい。
立山黒部アルペンルートを利用して室堂方面へ行く。
大町からバス、トロリー、バス、ケーブルカーと
並んで位ヶ原リバーハウスに室堂へ着く。
この時期でも結構混んでいたので夏に比べると
人出に驚かされる。

小屋で着換えをして、さくらんぼ滑る。ニセヒヨコ。
室堂周辺を11時ごろ近くの山に登る。下り
結構暑い。

上の方面は急斜面なので滑るところが多い。
軽い二重羽衣で、みんなすりすり1分不回りで滑る。

下の方で休憩すると風が出てヨロコビ寒いので
ツエルトマサト、お茶を沸かす。

遠くに雪山が見え、アルペニン的古黒色ロイヤル
北アルプスにまたぐ感じがする。

6月1日

今日は山崎カールを滑る。
宿を出る。サックにカラビナをつけ、スキーボード引張、2
登る。シーリングアイで2回今日ヒルガウスさくらんぼ。
雄山の途中で行かれてみんなあとでからと11時
頂上めぐしてやる。

スキーで下る。(2雄山祠社への参り)

朝から晴れ、今朝晴れて視界も
よくなってきた。

行をすく縮了した雪でケレンテ 同様の滑りを準備
ちゃんとスキーをこなすようにならなくて 気持ちが良い
下の方まで行くとエスカーレルが雪に見えた。

ここで 今日中に帰るという管沼さんと別れて
鳥場島荘を目指して立山川の岸を渡る
剣ヶ岳山川に見える剣ヶ岳的小屋を見た

立山川を渡り口を出しこの上の方下へ下り
下に行こうと土混(いじ)の雪で板を引いて歩いた所
から下の方まで行くと雪渓が切れないので土の方は
絶壁。対岸に渡らなくてはならなかった。結構高さ
があるところでは車を運んで降りたところ。
手すり、スキー、荷物を先に降ろしてから車を降り
下りた。車は斜面を下りて足場がちがうと難儀。
懸垂下降して降りた所が足場がちがうところ。
結果ここで1時間半も時間がかかってしまった。
しかも何とか鳥場島荘へ着いた。

サルトリとカラビナとウエストベルトは必携する二点を
痛感したスキー山行だった

山崎カール上部を滑る井村氏

